

宇佐 天舞音

肝属家畜保健衛生所 獣医務技師

2024年入庁

福岡県太宰府市出身

職歴 2024- 肝属家畜保健衛生所（現職）

01 現在の仕事内容



大家畜（牛、馬）の病性鑑定（各種検査、解剖）、伝染病調査、伝染病の発生情報周知などを担当しています。また担当業務以外にも、各畜種の農場を巡回して飼養衛生管理基準の遵守状況を確認したり、家畜伝染病の発生が疑われる農場へ緊急立入を行ったりしています。

02 鹿児島県に入庁した理由



大学入学当初から畜産に携わる職を希望しており、全国有数の畜産県であり大学生生活6年間を過ごした思い出のある鹿児島県を志望しました。また鹿児島県獣医師確保対策修学資金の貸与を受けられたことも、入庁を目指す後押しとなりました。

03 現在の業務の魅力



農家さんとお話する機会がたくさんあり、実際に家畜を飼った経験がない自分にとっては勉強させていただいている毎日です。異常が発生してもその全てが病原体が原因となるのではなく、日々の飼養管理の中にヒントがあることも多いので、広く牛に関する知識を吸収できるよう意識して業務に取り組んでいます。

04 とある1日の過ごし方



農家巡回（共進会出品牛の検査）

出勤

市町村や関係機関と同行して、対象牛の採血を行います。



昼休憩

検査業務

- ・血液塗抹標本の鏡検
- ・ELISA検査
- ・細菌培養



メール確認、事務作業

退庁

08:30

10:00

11:00

12:00

13:00

14:00

15:00

16:00

17:15

05 仕事でやりがいに感じる事



私の所属する肝属家保の管内は鹿児島県の中でも特に家畜頭数が多い地域であるため、より地域の畜産を支える仕事をしている実感と責任を感じられます。市町村の畜産担当者や関係機関と協力して業務にあたることも多いので、その中で自分たちの専門性を生かすことができます。



子牛セリ前学習会



放牧衛生検査



豚の採血

06 仕事でできなかったこと・苦労したこと



過度に緊張してしまう性格のため、電話対応に慣れるまでが大変でした。電話をつなぐ一瞬の間に相手方の名前を忘れてしまったこともありましたが、めげずに積極的に電話に出ることで自然と苦手意識はなくなりました。ただ、電話に限らず農家さんとお話する際に強烈な鹿児島弁を浴びると未だにびっくりしてしまいます（笑）。

07 仕事でびっくりしたこと・印象に残っていること



入庁する前までの家保業務に対するイメージが防疫関係ばかりだったので、1年目で衛生課配属となり獣医事や薬事を担当した際は、こうした業務もあるのかと驚きました。獣医師法や獣医療法、薬機法に基づき動物診療施設や動物用医薬品販売店に立入調査及び指導を行うなど、幅広い業務に携わることができます。

08 鹿児島県庁の好きなところ



地域や市町村と密接に関わることで畜産振興に寄与できる点や、今後経験するであろう離島勤務も鹿児島県ならではの魅力だと考えます。また基本的に温暖な気候で過ごしやすく、自然に囲まれた環境で仕事に臨めます。

09 仕事終わりや休日の過ごし方



職場から家まで歩けるほど近いので、仕事終わりに家の周りを散歩したり走ったりします。休日には県内の観光スポットや温泉、グルメを満喫しています。特に大隅半島は学生時代にあまり訪れられなかったのですが、自然豊かで素晴らしい名所がいくつもあり、いいリフレッシュになっています！



鹿屋市 仁徳稻荷神社



南大隅町 佐多岬



垂水市 千本イチョウ